

令和7年度 学校評価(保護者)の結果と考察

一宮市立起小学校
令和7年12月上旬

1 対象 ・保護者 130人

2 項目 ②保護者アンケート
教育方針(1、2) 家庭・地域との連携(3～6) 学校生活(7～13)
確かな学力(14～16) 豊かな心(17～24) 健やかな体(25～27) 合計 27項目
③児童アンケート 合計19項目

3 実施日 12月上旬

4 集計方法 ・各アンケート項目に対して、A(よくあてはまる)、B(ややあてはまる)、C(あまりあてはまらない)、D(全くあてはまらない)の評価をする。
・AとBを肯定的評価とし、CとDを否定的評価とする。肯定的評価の割合を算出し、教育活動の見直しをする。

5 評価の結果

①保護者アンケート

◎は肯定的評価が95%以上

○は肯定的評価が90%以上95%未満

▼は肯定的評価が80%未満

令和7年度
肯定的評価

令和6年度
肯定的評価

アンケート項目		令和7年度 肯定的評価	令和6年度 肯定的評価
1	本校の教育目標、経営理念、重点努力目標等は共感的に受け止めている。	◎96.1%	◎96.4%
2	学校は教育方針や教育活動の状況を、学年だよりやホームページ、PTA諸会合などでわかりやすく伝えている。	○93.8%	◎95.2%
3	学校は保護者への連絡をきめ細かく行っている。	○90.8%	○90.4%
4	学校は子どものことについての相談に適切に応じてくれる。	◎98.5%	○93.4%
5	学校は保護者の意見や要望をくみ取る努力をしている。	○94.6%	○92.2%
6	学校は学習内容や進度を学年だよりなどによって、わかりやすく伝えている。	◎96.9%	○94.6%
7	子どもは元気に学校に通っている。	◎96.2%	◎96.5%
8	子どもは自分の学級は楽しいと言っている。	◎96.1%	89.8%
9	先生は子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。	◎97.7%	◎95.8%
10	学校は子どもの安全確保に努めている。	○93.8%	◎95.2%
11	学校の行事や体験活動は、子どもの成長に役立っている。	○93.9%	◎96.4%
12	学校は様々な教育活動の中で、互いに尊重し合う心の育成に努めている。	◎97.0%	◎97.6%
13	学校はいじめ・不登校対策について積極的に取り組んでいる。	◎95.3%	○94.0%
14	学校は子ども一人一人を大切に、きめ細かな授業を進めている。	○90.8%	89.8%
15	子どもは授業が分かりやすいと言っている。	○90.0%	85.0%
16	子どもは家庭学習の習慣が身についている。	▼77.6%	▼74.8%
17	子どもは挨拶がしっかりできている。	81.5%	88.6%
18	お子さんは正しい言葉遣いができている。	▼73.0%	▼77.8%
19	お子さんは早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けている。	80.7%	84.4%
20	子どもは社会生活のマナーやルールを身につけている。	○90.8%	88.6%
21	お子さんは自分のよいところが分かっている。	80.8%	83.2%
22	お子さんは人に親切にしようとする意識を高め、進んで人の手助けをしようとしている。	89.2%	○90.4%
23	お子さんは、家の手伝いや役割分担を、進んで果たそうとしている。	▼70.0%	▼74.8%
24	子どもは地域の人々との交流の場に参加している。	▼60.8%	▼55.7%
25	お子さんは進んで運動し、体力づくりに取り組んでいる。	▼76.2%	▼68.2%
26	お子さんは日頃から交通事故防止など、自分の身は自分で守る意識が身に付いている。	83.9%	88.0%
27	お子さんはゲームやスマートフォンなどの機器を時間を決めて使用し、ルールやネットモラルを守って安全に使用している。	▼66.9%	▼64.7%

(5) 保護者の声に対する改善策

＜学習に関して＞

①「確かな学力」について

学習指導については、保護者の方から全体的には肯定的な評価をいただいています。「15.子どもは授業が分かりやすいと言っている」については、85.0%から90.0%と前年度より向上しました。また、「16.家庭学習の習慣が身につけている」と答えた保護者も74.8%→77.6%と向上しました。授業では基礎基本を重視した指導が定着し、「わかる・できる」が感じられているので、より家庭と連携をとり、学校で学んだことを家庭学習で復習し、確実に定着できるよう、「学びの自信」に繋げる学習意欲そのものの向上を図りたいと考えています。

②職員の授業力向上について

子どもたちの学力を高めるためには、職員が授業力を向上させ、楽しく・分かりやすく・身につく授業を行うことが不可欠です。「14.きめ細かな授業」について、先の「確かな学力」同様、昨年度89.8%から今年度は90.8%となり、個に対応した学習支援が保護者からも理解されています。

教職員の現職教育の研究体制を確立し、昨年度以上に職員間の共通理解事項を具体的にしながら各学年による授業研究を進めてきました。今後もより、子どもたちへの多様な支援、指導スキルを広げ、さらに個に対応した指導をていねいに進めていきます。教室で友達と楽しく学びながら、「わかる・できる」が実感できるよう、現職教育のテーマに迫れるような共通認識をもった授業力の向上を図っていきます。

＜生活に関して＞

①あいさつやことばづかいについて

保護者アンケートのあいさつについての肯定的評価は、R3 76.1%→R4 80.3%→R5 80.0%→R6 は88.6%でしたが、R7は81.5%と昨年度より低下しました。学校で主催しているあいさつ運動では、保護者ボランティアや尾西第一中学校の生徒と連携して、元気のよいあいさつをすることができていました。また、日常のあいさつも学校内ではよくできるようになっているように感じています。家庭とともに、あいさつはよい人間関係を築くコミュニケーションの方法の一つであることを理解させながら、指導していきます。

ことばづかいについての肯定的評価も同様に、R3 64.3%→R4 70.9%→R5 68.8%→R6は77.8%でしたが、R7は73.0%と低下しました。学校は様々な関わりから言葉を学ぶ場です。場に応じたことばづかいができるように意識した指導が大切だと考えています。そのためにはまず教師が範を示し、「さん」をつけて名前を呼ぶように心がけ、「です・ます」という丁寧な語尾で会話したいと考えています。そして、あいさつと共に、日常と学習の場での会話、大人に対して話すときの丁寧な言葉など、場に応じた言葉遣いと、友達の気持ちを考えた言葉がけ、大勢の前での発表の仕方や対話や討論の仕方を理解させていきます。

②交通事故防止について

昨年度以前と比べると、今年度もより通学団でのトラブルが大変少なくなりました。ミニ通学団会での情報収集とともに、問題が起こった場合は、地域と相談しながら対応してきた成果と考えています。しかし、保護者の回答での「26 自分の身は自分で守る意識」については、R6 88.0%→R7 83.9%となり、また、残念ながら、今年度も初めに飛び出しによる交通事故が発生しました。こうした現状を深刻にとらえ、改めて無事故が続くように、今後も帰宅後の交通安全の意識を具体的に高めるとともに、自転車乗車時のヘルメットの着用や一旦停止、飛び出しの禁止などの指導や、帰宅後の遊び方のマナーなどにも指導をしていきます。

＜その他＞

①地域行事への参加について

一昨年度より新型コロナウイルス感染症の5類移行により、起・大徳・小信中島の各連区とも、地域づくり協議会や公民館活動等で、行事が再開されました。今年度は各連区で児童が参加できる市民体育祭や文化祭、三世代交流会なども行われ、各行事には保護者と共に笑顔で参加する児童の姿が見られました。保護者アンケートの結果を見ると、地域行事への参加状況は回復してきています。（R3 47.2%→R4 55.8%→R5 55.4%→R6 55.7%→R7 60.8%）

保護者の共働きによる、土日などの余暇の過ごし方の変化や地域コミュニティへの加入率の低下などの背景から、地域行事への子どもたちの参加は家庭にゆだねられています。地域は、地域に住む子どもたちを大切にしようという気持ちが強く、繋がりを深められるように努力しています。学校でも、地域の良さを感じ取らせ、より地域の一員としての意識を高めていきたいと考えています。